

みなみまち協だより

第17号 令和2年3月15日
 発行所：みなみまちづくり協議会
 高山市岡本町1-18 南小学校内
 Tel&Fax 34-0114
 題字：内木 能里子(八軒町2)



南地区の風景

2020 聖火リレー

令和2年4月4日(土)に高山市へ聖火リレーがやってきます。中津川市→多治見市→八百津町→郡上市→高山市とリレーされます。

市内では、高山陣屋前(19:10 発予定)をスタートし、中橋→上三之町→上二之町→さんまち通り→広

小路通り→高山市民文化会館前→JR高山駅西口(19:47着予定)。高山駅西交流広場では、その日の最終聖火ランナーが運んできた聖火を聖火皿に灯すセレモニー(セレブレーション)が行われます。

詳細は高山市のホームページを検索してください。

桜 句

「手足れ」と書いてどう読むかご存知ですか。「てだれ」と読むが、私は知らなかった。そう言えば高山の鍛冶橋に手長と足長の像が立っているのを思い出す。あの元は屋台の彫刻で飛騨の匠の中でも特に腕の良い「手足れ」の作品の一つが、時代を経て残ったもの。

昔南小学校の校長をしていたこともある沖野清先生の画文集「ふるさと高山」を久しぶりに開いてみた。百十七枚の絵に百十七人のエッセイが付けてある。消えて行く懐かしい景色を惜しんで、先生が画を残した。

本のまえがきに東京芸大教授の武藤三千夫という人が沖野先生のことを「彼の文化史的にきわめて有意義な、手足れのスケッチは・哲学としてのエロジ―にまで昇華した画家沖野の『こだわり』である」と結んである。ここで「手足れ」という言葉に出合った。「手練」とも書く。

南小学校を卒業して二中(今の松倉中)に行った時、沖野先生は図工担当で私のクラスの担任だった。

手足れの先生の画いた景色を探して、南校下を歩いてみませんか。先生こだわりの景色や建物はまだ沢山残っています。(中林利数)

令和元年度を振り返り

みなみまちづくり協議会会長 黒田 久美子

まちづくり協議会になり五年目、平成三十一年度で迎えたみなみまちづくり協議会も令和となりあつというまに一年が過ぎました。やりたいことたくさんありましたが思うように進まず心残りとなっています。

今年も昨年に続き防災に力を入れてきました。先生方のご協力も得て児童の防災教室での学び、地域住民の皆さん対象のワークショップ、町内のリーダーとなる町内会長さん向けの研修などを行ってきました。中でも二十五年前の阪神淡路大震災のあった兵庫の「人と防災未来センター」と淡路島の野島活断層への視察研修は、まち協にとっては大きな行事で大変勉強になりました。それに役員だけではなく、地域の皆さんが積極的に参加していただけたことをとてもうれしく思いました。どの皆さんも災害について重く考えてみえると痛感しました。

行事だけをするのではなく、皆さんと共に地域を造り災害などがあっても「地域は地域に住む自分達で守っていく」その中心になるのがまち

づくり協議会です。

行事に、生活に、生まれてからこの地域を離れるまでお互いを守り、守られる大切な場所です。私は四年間会長としていろいろな行なってきました。会長職を離れますが、来年度から事務所にさらなる地域のために頑張ります。

来年度は地域の方の「居場所づくり」を計画しています。皆さんのご協力をお願いします。ありがとうございます。



阪神淡路大震災の語り部から震災体験を聞く！

地域づくり部

今年度の町内補助について

地域づくり部長 河合 博昭

早いもので、もう年度末を迎えようとしています。

現在、みなみまち協は二十の町内会から構成されていますが、その町内会の規模たるや千差万別です。最大は上岡本町町内会の九百二十五世帯、最小は花里町四丁目町内会の十九世帯です。また町内会毎の行事活動にもかなりの温度差があり、年度当初に提出していた各町内会の行事活動予定を見ても一目瞭然です。

本年度の活動補助総額は、百四十五万円です。二十町内会に世帯数規模をベースとした上限限度額を設定しました。行事活動も各種あり、日帰り親睦バス旅行、夏の盆踊り、老人会、子ども会の親睦会、総会等が対象となります。（ことわっておきますが、酒代は含まれません。）基本的には、行事実施され次第必要書類を提出いただいて審査して実行金額の20%を活動補助費として振込いたします。しかし残念ですが、手続きの不備等により補助できない町内

事業名	町内会数	総額
情報提供事業 ※	5	11,000,000
町内活動補助事業	16	1,450,000
外灯補助事業	20	995,000
総額		13,445,000

※情報提供事業は、市が修繕補修を実施し費用も市が負担します。

会もありました。

是非来年度はこの様な事がなき様お願いしたいものです。

他に地域づくり部では、町内の外灯電気料の九十%を補助しています。

また、金額的な補助ではありませんが情報提供（各町内の生活道路の修繕、補修）の収集と市役所との折衝及び実行を行っています。

防災委員長

今年度の防災活動について

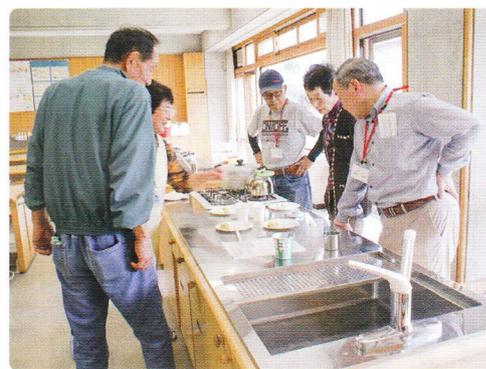
防災委員長 竹腰 幸夫

昨年、台風による豪雨災害が近隣長野県で発生、今季の大寒は雨降りや雪のない異常な気象が続きました。

まち協防災活動では大雨に対する南小学校防災教室・防災ワークショップを岐大の村岡先生により分かりやすく解説をしていただきました。

各町内会の自主防災活動の講座では、①自主防災の活動状況を

月日	事業名	参加人数	備考
6月17日	南小学校防災教室 「大雨の日はどうするの？ 教えて！村岡先生！」	385	高学年と低学年の2部に分けて講演
7月15日	防災講座 「大雨災害は逃げるが勝ち」 ～早めの避難完了作戦を立てよう～	61	後半はDIG
10月6日	非常時にも役立つ非常食調理講習	30	ふれあい文化祭
11月1日	自主防災活動の取り組み講座	38	町内会自主防災
11月17日	防災先進地視察研修	31	神戸・淡路



非常食調理講習の様子

西町の中村町内会長より報告頂きました。西町には町内会長を経験した防災士が三人いて町内会の二役と自主防災の話し合いを行い、
・ 防災用アンケートを全戸へ配布
・ 各班での緊急連絡。確認簿の作成
・ 町会長と自主防災代表の兼務解消
・ アンケート後、希望者に簡易型感震ブレーカの購入・取付を実施。
②災害に備える準備と災害時の行動計画をみんなで作る地区防災計画の解説ビデオを視聴しました。
今後の自主防災活動の取り組みがより活発化するようお願いいたします。

社会教育部

「」参加ありがとうございました

社会教育部長 遠藤 伸子

本年度も社会教育部主催事業にたくさん参加していただき、大変感謝しております。

長寿会事業の「あんしん・あんぜん講座は二地区に分けて行い、多くの方が交通安全の講話とコント仕立ての詐欺防止寸劇に熱心に耳を傾けてくださいました。

体育行事事業「グラウンドゴルフ大会」は南小グラウンドで開催しました。

教養講座事業の「クラフトテープかごバッグ作り」は五年目になりました。「ワイン講座」「ほろ酔い日本酒講座」「陣屋巡り」も大変好評でした。今年から新たに「パソコン小



ほろよい日本酒講座

事業分類	月日	事業名	参加人数
長寿会	6月10日	あんしん・あんぜん講座	20名
長寿会	6月12日	あんしん・あんぜん講座	39名
体育行事	6月23日	グラウンドゴルフ大会	35名
教養講座	7月19日	クラフトテープかごバッグ講座	21名
教養講座	8月9日	ほろ酔い日本酒講座	15名
教養講座	8月21日	パソコン小技教室	12名
教養講座	9月6日	ハーバリウム講座	8名
教養講座	10月2日	寄せ植え講座	10名
教養講座	10月22日	高山陣屋めぐり	26名
体育行事	10月27日	松倉山ウォーキング	22名
体育行事	11月24日	3まち協合同ボウリング大会	30名
教養講座	12月14日	親子正月花飾りづくり教室	25名
教養講座	1月25日	新春ワイン講座	27名
体育行事	2月15日	みなみボウリング大会	66名
参加のべ人数			356名

技教室」を始めました。

その他に花里・山玉両まち協との合同ボウリング大会にも三十名の方が参加してくださいました。

ふれあい文化祭ではバザーとスポーツ交流会を担当し、教養講座の作品展も行いました。

年間を通して多くの方に関心を持っていただき感謝いたします。今後ともご意見やご希望がありましたら、事務局まで声をお寄せください。

青少年部

一年を振り返って

青少年部長 田中育宏

青少年部は子どもたちとの関わりが多く、特に南小学校との連携は不可欠となります。その中で秋に行事が集中し、部員の皆様には町内会の行事もある中で、お手伝いをいただき、大変感謝しています。土曜日に開催される子ども体験教室は子どもたちと地域の先生役になつていただく方々との繋がりを大切に取り組んでいます。

月日	事業名	人数	回数	備考
子ども体験教室	たのしいおかしづくり (前期)	24	4	5/18~8/24
	たのしいおかしづくり (後期)	20	4	10/26~1/25
	バドミントンで楽しく遊ぶ	29	14	5/25~12/7
	一から始める囲碁教室	11	11	7/6~12/7
	三味線教室	2	5	10/12~11/9
6月26日	子ども会育成研修会	7		
夏休み	放課後児童クラブへ学習ボランティア派遣	6		中学生ボランティアを派遣
8月11日	乗鞍親子日帰りバスハイク	66		
8月20日	まち協縁日	84		
8月28日	東海北陸地区子ども会育成研究協議会岐阜大会			



バドミントンで楽しく遊ぶの様子

十月には学校の教育公開日後に「ふれあい文化祭」を開催しました。高山工業高校の生徒さんによる工作教室、青少年部が行うアイロンビーズ・キーホルダー作りが毎年好評で多くの児童が参加していただきとても感謝しています。

夏休みには「乗鞍親子日帰りバスハイク」を開催いたしました。前年度よりも滞在時間を二時間延長したことで、参加者の約半数の方々が山頂を目指して子どもたちと楽しい時間を過ごすことができました。最後に雨に降られました。素晴らしい大自然を堪能できなかったのではないかと思います。今年一年間ありがとうございました。

社会教育部

今年度の活動を振り返って

福祉部長 塚田さち子

〈敬老会〉

南地区敬老会は九月十六日に開催しました。七十五歳以上の該当者が千三百九十八名で内二百九十七名が出席されました。九十歳以上の出席者二十五名には花束を贈呈しました。

〈一元玉募金〉

各町内会で集めていただいた一元玉募金は総額九万六千二百四十二円となりました。ご協力ありがとうございました。

〈古布・ペットボトルキャップの回収〉

集めていただいた古布は、裁断、



高山社会福祉協議会へ寄付

	事業名	金額(円)
募金	一元玉募金	96,241
	リサイクルバザー	18,800
	前年度繰越金	5,154
	募金合計	120,195
寄付	歳末助け合い運動	50,000
	社会福祉協議会	50,000
	寄付金合計	100,000
	残金(来年度繰越)	20,195

分別などの処理をして、市内七か所の施設に寄付しました。キャップは全部で約百二十kgとなり、サンタの倉庫を通してワクチン購入に役立てていただきました。

〈リサイクルバザー〉

ふれあい文化祭のリサイクルバザーでは、多くの品物をご提供頂きありがとうございました。

一元玉募金とリサイクルバザーの売上金は十二月に社会福祉協議会と歳末助け合い運動へ寄付いたしました。

防災先進地視察研修に参加して

上岡本町 防災士 栗田 美由紀

令和元年十一月十七日・十八日の二日間、みなみまちづくり協議会主催による「防災先進地視察研修」に参加させていただきました。

十七日午前七時に南小学校を出発したバスは、それぞれの地点で参加者に乗せ全員が揃ったところで、一路神戸へと向かいました。視察研修の参加者は、みなみまち協二十一名、新宮まち協七名、清見まち協三名の総勢三十一名です。この日はお天気にも恵まれ順調に東海北陸道・名神道と進み、途中事故渋滞も



ありましたが思いの外スムーズに動き出し、お昼には神戸南京町に到着しました。

神戸南京町では各自で昼食を取り散策を楽しみました。どの飲食店もお値打ちでボリュームのあるランチメニューが沢山ありました。昼食後に土産物店を覗く時間もありません。

さて、いよいよ最初の視察研修地「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」に到着です。

センターは東館と西館の二棟からなり、先ず西館四階「震災追体験フロア」、三階「震災の記憶フロア」、二階「防災・減災体験フロア」と回りましたが、阪神・淡路大震災の地震破壊のすさまじさを映像や音響、写真、ジオラマなどで追体験しました。特に印象深かったのは震災直後の街並を再現したジオラマで、まるで自分がその場に立っているかのような迫力でした。次に連絡通路を経て東館へ行き、東館三階の「水と減災について学ぶフロア」で、風水害の脅威や津波避難体験コーナー、将来懸念され



る大規模災害についてのコーナー、防災減災の取組みについて考えるコーナーなどを回り、与えられた時間では短すぎると感じた中身の濃い二時間でした。

宿泊先の神戸三宮ユニオンホテルでは、幹事さんのご配慮により、一人一室という有り難い部屋割りでした。夕食はホテルに程近い和食処「海鮮はたごや」で、美味しいお料理とたっぷりのお酒をいただき和気あいあいの懇親会となりました。

翌十八日は明石海峡大橋を渡り淡路島の「野島断層 北淡震災記念公園」へと向かいました。

記念公園の「野島断層保存館」では語り部の方の体験談をお聞きし地

域のつながりの大切さを実感し、活断層である野島断層の地面のずれがそのままの形で保存されているのを目の当たりにしました。地震断層が横切る民家「メモリアルハウス」では耐震家屋の底力を学び、「震災体験館」では阪神・淡路大震災時の揺れを実際に体感してシエイクアウトの姿勢をとることの大切さを実感しました。

二日間の視察を終え帰路につきましたが、途中たこせんべいの里の見学や明石海峡大橋の眺望が良い淡路ハイウェイオアシスでの昼食などのお楽しみもあり、充実した日程でした。

今回の視察では黒田会長、竹腰防災委員長はじめ、みなみまち協の役員の皆様に大変お世話になりました。この視察研修で学んだことは今後の防災減災活動に活かしていきたいと思えます。ありがとうございました。



野島断層

「あっという間の十年」

事務局長 宮岡 宏



私、この三月でみなみまちづくり協議会事務局長を退任いたします。

南社教時代に社会教育主事で五年、みなみまち協事務局長で五年の合計十年お世話になりました。十年前の南社教は、当時珍しい女性の委員長さん、部長さんが奮闘されていました。さらに男性役員の方々がその女性委員長さん、部長さんをバックアップしていました。そのフラット感は今のみなみまち協に確実に受け継がれているように思います。最近聞かれるジェンダーバランスという言葉は、今や世界的な趨勢のようです

が、南地区は十年以上前から時代を先取りしていたのではないのでしょうか。

私はもともと高山で生まれ育ったわけではなく、埼玉県から三十年前に清見に移住し、木工会社に二十年勤務のあと社教主事として勤めさせていただきました。

この十年、地域の皆様には本当によくしていただきました。また、南小学校の児童のみなさんにもとても励まされた気がしています。

今後、新しい風が入って、新しい交流が生まれ、南地区のみなさんがいっそう活躍されることをお祈りいたします。本当に長いあいだ、ありがとうございました。

スゴイ!!



第5回ふれあい文化祭で発表の様子

法務省が主催する「第六十九回社会を明るくする運動」作文コンテストで、南小学校六年の幅聡美さんが全国保護司連盟理事長賞を受賞しました。小学生の部では全国から十五万点以上の応募があり、優秀賞十五点のうちに選ばれました。昨年十月六日「第五回みなみふれあい文化祭」でも発表していただきました。

定期総会開催のお知らせ

日時 令和2年4月27日(月) 午後7時～ 会場 高山市民文化会館・3階講堂

議案

令和元年度 事業報告・令和元年度 決算報告
令和元年度 役員改選・令和2年度 事業計画・令和2年度 予算案 など

みなみまちづくり協議会規約第12条第2項により公開、また同第13条第1項により構成員は運営委員、理事、部会員となっております。

南地区の一般の方の出席も広く募っておりますので、皆様お誘いあわせの上ご参加ください。

来年度役員を選任について

みなみまちづくり協議会規約(以下規約と略す)第8条の規程により、以下のように選考委員を選出し、令和元年12月18日(水)に選考委員会を開催しました。

選考委員

協議会役員から2名：河合 博昭、田中 育弘
協議会理事から3名：丸谷 和俊、石上 寛、牛丸 英夫

選考結果

令和2年度会長として 三枝 祥一 を選考しました。

行事活動 アルバム

町内活動 紹介



親子正月花飾り づくり教室

12月14日 南小多目的室

25組の親子が参加しました。今年から門松を模した正月飾りをつくりました。

材料は、縁起の良い松竹梅や、南天・菊などを使用しました。



社会教育部



新春ワイン講座

1月25日 一本杉神社社務所

27名が参加しました。

今回はアメリカ産のワインを6本試飲しました。講師から産地の気候や地質とワインの関係や合う食材料理を教えてくださいました。

社会教育部



みなみボウリング大会

2月15日 プレイビー

親子で沢山参加いただき、総勢66名となりました。

ストライクやスペアを取るとその都度景品がもらえます。皆さん沢山の景品をゲットしていました。小学4年生以下はガータ無しなので、予測できない球筋でピンがパタパタと倒れていました。

社会教育部



上岡本町子ども会 クリスマス会

12月22日 辻が森公民館



160名を超える子ども達が参加。ビデオを見た後、ビンゴ大会。全員に景品が当たりました。ケーキと飲み物をもって笑顔で帰っていきました。

上岡本町子ども会



犬を連れてたひな人形

私の一枚



天満宮の梅



文芸南俳句葉月会

踏青や礎石の月日天守跡	安藤 桂
春星と成り給ひしか通夜戻り	上田真穂子
それぞれの小切れに由来吊し雛	栗田美由紀
春を待つ思ひ一入 <small>ひとしお</small> 飛驒に住む	小林 高子
暁の風のゆるびや春立てり	紺谷健次郎
サクラサク笑顔の孫に幸多く	下屋 孝雄
街角の小さき公園梅白し	瀬川 章子
春浅き風まだ尖りて水迅し	玉田 信哉
蛤の一つ開きて祝ひ膳	保木 信子
えごま餅うつすら焦げる彼岸かな	益田美貴子
葱坊主地軸回りて陽の光	米澤 智子

様々なイベントも中止や延期になっています。この先一〜二か月先の様子全く予想できません。三月十二日に開催予定のみなみまち協全委員会も中止となりました。

二〇二〇東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレーも四月四日に高山に来ますが、実施されることを祈るのみです。

編集後記

年度末が迫る中、新型コロナウイルス感染が広がっています。

この季節、いろんな別れと出会いが繰り返されますが、みなみまち協でも何名かの役員異動があります。

長年事務局長を務められた宮岡さんが退任されます。社教時代から事務局長をされて、事務局の顔のような存在でした。広報部も無理難題をお願いして、広報誌「みなみまち協だより」の発行に協力していただきました。ありがとうございました。

(神田)

令和2年度 子ども体験教室のご案内



たのしいおかしづくり(前期) 3年生以下は保護者同伴

バドミントンで楽しく遊ぶ 3年生以上

一から始める囲碁教室 3年生以上

三味線教室 4年生以上

南小学校の児童を対象に、もうすぐ募集が始まります。